

# 森の川自然散歩

2017年9月号

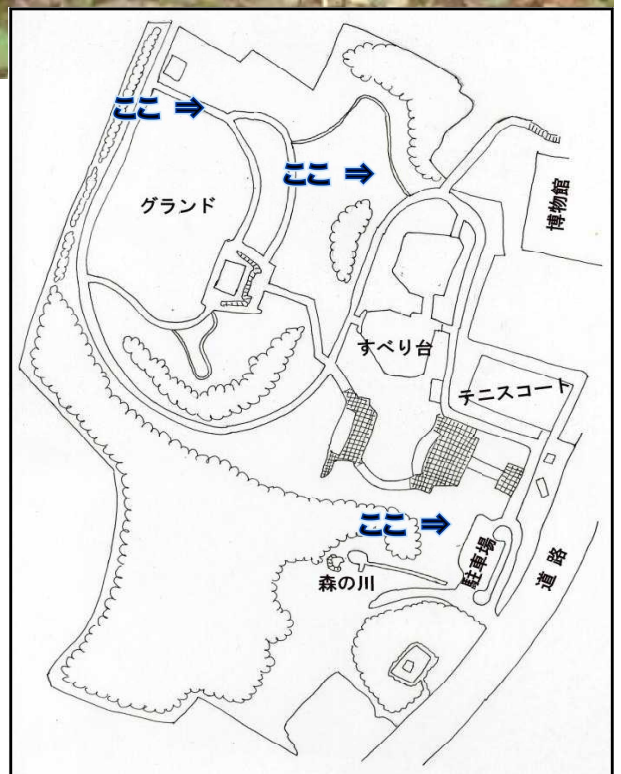


暑い夏、いつでも元気な宜野湾の留鳥

上：森川公園の駐車場のわきでエサ探しをしているキジバト

## キジバト (メモ) ▶▶▶

- 全長が30cmをこえる中型のハトの仲間。
- 鳥類を観察するときに、大きさの目安となる物差し鳥の一つ。実際にはキジバトくらいの大きさと表現する。
- 体の色は淡い灰色で、羽は褐色にウロゴ状の縁取りがある。首筋には白と黒の短いすじがある。
- 鳴き声は、「デデッ、ポッポー、デデッ、ポッポー」と、少し寂しい声だよ。
- 森川公園をはじめ、宜野湾では一年中見ることができる。
- 地面において、ヒョコヒョコ歩く姿がかわいい。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (6) ソテツ広場のアコウの木

森川公園のソテツ広場に行くと、広場の中央から少し花のトンネルに寄ったところに、少し変わったオブジェのような木？があるよ。土台になっているのは枯れたソテツの幹で、その上にちょこんとのっかっているのはアコウの木です。

この一風変わったオブジェは、枯れたソテツにアコウの木の種が落ち、芽吹いたものだけど・・・、どうしてできたのだろう？。

種明かしをすれば、ソテツが枯れた後にヒヨドリやキジバトがやって来て、枯れたソテツの上でうんちをしたのでしょ。そのうんちの中に、アコウの種が入っていて、ソテツの上で芽生えて生長したというわけ。

それで、このアコウの木、将来はどうなると思う？。多分、ソテツに沿って長いツルのような根(気根)を伸ばし、ソテツを支えにして自立するようになるかもね。でもその頃には、ソテツは朽ちて、跡形もなくなってしまうよ。

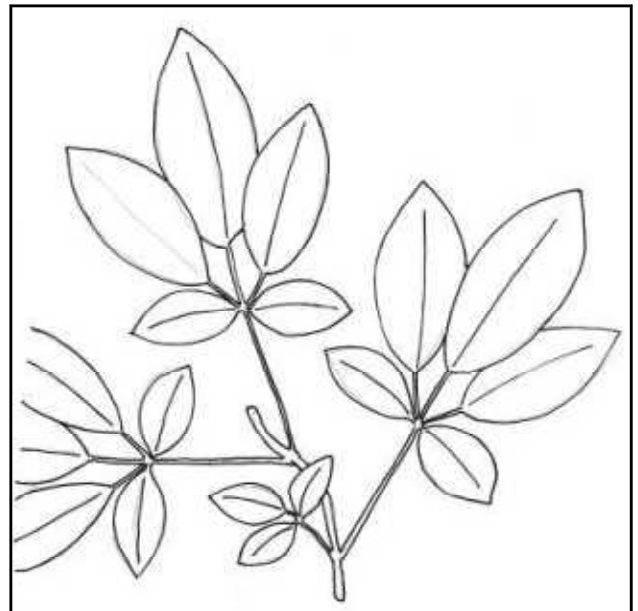


## 森川公園9月の花ごよみ

### モモイロノウゼン

- 葉っぱは、5つの小さな葉を持つ複葉。
- 花は淡い桃色から白っぽい色をしている。ぽつりぽつりと、少ない数で一年中咲いている。
- 葉が年中緑色をした樹木で、高さは2m～10mになる。大きくなると、樹皮が縦にさける。
- 森川公園では、駐車場のそばや上の広場の周りに植えられている。

※ よく似た木⇒イッペー、カポック、フカノキ。  
イッペーとは花の形、カポックとは小葉の数と形で  
区別できます。



博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

